

## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

### スケジュール

※あくまでも現時点での予定となります。

| R 3年度    | 8月   | 9月  | 10月   | 11月 | 12月   | 1月  | 2月 | 3月  |
|----------|--|---|---|-----|---|---|----|---|
| カリキュラム検討 | 第1回  | 第2回   | 第3回   |     | 第4回   | 第5回   |    | 第6回   |
| 主な検討項目   | <ul style="list-style-type: none"> <li>養成するピアサポーター像</li> <li>検討課題整理</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎研修講義内容検討</li> <li>基礎研修演習の検討課題整理</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎研修演習教材検討、ワークシヨップ用資料検討</li> </ul> |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門研修講義内容検討</li> <li>専門研修演習の検討課題整理</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門研修演習教材検討、ワークシヨップ用資料検討</li> </ul> |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門研修演習ワークシヨップ用資料検討</li> <li>次年度引継事項整理</li> </ul> |



| R 4年度    | 5月  | 6月                 | 7月                 | 8月 | 9月 | 10月  | 11月  | 1月                      | 2月   |
|----------|---|--------------------|--------------------|----|----|--|--|-------------------------|--|
| 研修実施     |   | 基礎研修<br>2回<br>計4日間 | 専門研修<br>2回<br>計4日間 |    |    |  |  | フォローアップ研修<br>2回<br>計4日間 |  |
| カリキュラム検討 | 第1回   |                    |                    |    |    | 第2回  | 第3回  |                         | 第4回  |
| 主な検討項目   | <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の振り返り</li> <li>講師の決定</li> <li>フォローアップ研修演習の検討課題整理</li> </ul> |                    |                    |    |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎研修、専門研修の反省を踏まえた検討課題再整理</li> <li>フォローアップ研修教材検討、ワークシヨップ用資料作成</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>フォローアップ研修ワークシヨップ用資料作成</li> <li>講師の決定</li> </ul> |                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>フォローアップの反省点の振り返りと年間まとめの回</li> </ul> |

## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

## 基礎研修 ねらい

## ピアサポーターが目指すもの

- ・基礎知識を習得し、ピアサポートの役割や価値を理解し、自分の強みを活かすことができる。

⇒その他、受講にあたり設定すべき目標はありますか？

## 専門職が目指すもの

- ・基礎知識を習得し、ピアサポートの役割や価値を理解し、ピアサポーターと協働することができる。

⇒その他、受講にあたり設定すべき目標はありますか？

## 協働するために必要なこと

ピアサポーターと専門職が互いを知ること

受講者が目指すもの

## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

## 基礎研修カリキュラム 1日目

(注)当事者とは、ピアサポーター又はこれに準ずる障害当事者をいう

| 項目             | 概要   | 講師イメージ   | 時間                     | 国テキスト<br>該当頁 |
|----------------|--|--|------------------------|--------------|
| オリエンテーション      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●研修の全体像・基礎研修のねらい</li> <li>●グループワークのグラドルール</li> </ul>  | 研修事務局  | 10時20分～10時30分<br>(10分) |              |
| 1 ピアサポートの理解    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●障害領域ごとの歴史や背景</li> <li>●障害領域ごとの視点</li> <li>・(例)難病の場合、ピアサポーターから話を聞くことで、病気への理解を深める。</li> </ul>  | ・当事者1人(秋山委員)   | 10時30分～11時00分<br>(30分) | p.3～p.6      |
| 2 演習①          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●講義1の振り返り、気付きの共有</li> <li>・(例)「あなたの考えるピアサポートやあなたのストレンクス(強み)について、自己紹介を交えながら話し合ってみましょう。」</li> <li>→所属事業所(サービス種別、障害種別)、ピアサポートとは、ピアサポートの強み等の意見交換</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者5人(検討委員会委員等)</li> <li>・専門職5人(検討委員会委員等)</li> <li>計10人(5グループ)</li> <li>・受講者の障害領域に合わせて、<u>精神、身体、知的、難病、高次脳</u>の各障害領域から選任</li> <li>・演習統括は、秋山委員</li> </ul>  | 11時00分～12時00分<br>(60分) | p.6          |
| (60分昼休憩)       |  |  |                        |              |
| 3 ピアサポートの実際・実例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●障害領域ごとのピアサポートの実践</li> <li>・雇用している立場からの実践報告(ピアサポーターの活躍の場の例、雇用者が感じる利点と工夫している所)</li> <li>・ピアサポーターの立場からの実践報告</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者、専門職(検討委員会委員等)</li> <li>計5人</li> <li>・<u>精神、身体、知的、難病、高次脳</u>の各障害領域から選任</li> <li>・講義統括は、岩崎委員長</li> </ul>   | 13時00分～14時10分<br>(70分) | p.7～p.22     |
| (15分休憩)        |  |  |                        |              |
| 4. 演習②         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●当事者:自分の経験を振り返り、体験の活かし方を話し合う</li> <li>●当事者以外:ピアサポーターの活かし方を話し合う</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者5人(検討委員会委員等)</li> <li>・専門職5人(検討委員会委員等)</li> <li>計10人(5グループ)</li> <li>・受講者の障害領域に合わせて、<u>精神、身体、知的、難病、高次脳</u>の各障害領域から選任</li> <li>・演習統括は、岩崎委員長</li> </ul> | 14時25分～15時05分<br>(40分) | p.21         |

## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

## 基礎研修カリキュラム 2日目

(注)当事者とは、ピアサポーター又はこれに準ずる障害当事者をいう

| 項目               | 概要  | 講師イメージ   | 時間                     | 国テキスト<br>該当頁 |
|------------------|---|--|------------------------|--------------|
| 5 コミュニケーションの基本   | ●ピアサポートの視点を取り入れたコミュニケーション技法や経験の共有   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者1人(宮本委員紹介)</li> <li>・<u>国検討チーム作成の講義ビデオ教材の活用</u></li> <li>・<u>必要に応じて、講義サポート(ワークの見本等)は、宮本委員</u></li> </ul>  | 10時30分～11時10分<br>(40分) | p.23～p.26    |
| 6 演習③            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●講義5の振り返り、気付きの共有</li> <li>・(例)「『私』を主語にする伝え方で伝えてみましょう」</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者5人(検討委員会委員等)</li> <li>・専門職5人(検討委員会委員等)</li> </ul> 計10人(5グループ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>受講者の障害領域に合わせて、精神、身体、知的、難病、高次脳の各障害領域から選任</u></li> <li>・<u>演習統括は、講義講師</u></li> </ul> | 11時10分～12時10分<br>(60分) | p.26         |
| (60分昼休憩)         |   |  |                        |              |
| 7 障害福祉サービスの基礎と実際 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●障害福祉施策の歴史</li> <li>●障害福祉施策の仕組み</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職1人(吉野委員)</li> </ul>   | 13時10分～13時50分<br>(40分) | p.27～p.30    |
| 8 演習④            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●講義7の振り返り、気付きの共有</li> <li>・(例)「福祉サービスにおいて、ピアサポートがどのように活用されるのか、話し合ってみましょう」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者5人(検討委員会委員等)</li> <li>・専門職5人(検討委員会委員等)</li> </ul> 計10人(5グループ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>受講者の障害領域に合わせて、精神、身体、知的、難病、高次脳の各障害領域から選任</u></li> <li>・<u>演習統括は、吉野委員</u></li> </ul> | 13時50分～14時10分<br>(20分) | p.30         |

## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

## 基礎研修カリキュラム 2日目

(注)当事者とは、ピアサポーター又はこれに準ずる障害当事者をいう

| 項目           | 概要  | 講師イメージ  | 時間                     | 国テキスト<br>該当頁 |
|--------------|---|---|------------------------|--------------|
| (15分休憩)      |   |   |                        |              |
| 9 ピアサポートの専門性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ピアサポートの具体的な専門性</li> <li>●倫理と守秘義務</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者1人(小阪委員)</li> </ul>  | 14時25分～15時55分<br>(30分) | p.31～p.36    |
| 10 演習⑤       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●講義9の振り返り、気づきの共有</li> <li>・(例)「ピアサポーターの大切な強みについてどう思いますか」、「ピアサポーターと専門職と一緒にサポートすることについてどう思いますか」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者5人(検討委員会委員等)</li> <li>・専門職5人(検討委員会委員等)</li> </ul> 計10人(5グループ)<br><u>・受講者の障害領域に合わせて、精神、身体、知的、難病、高次脳の各障害領域から選任</u><br><u>・演習統括は、小阪委員</u> | 15時55分～16時45分<br>(50分) | p.35         |

## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

## 1 ピアサポートの理解

獲得目標

●障害領域ごとの歴史や背景、障害領域ごとの大切な視点を学ぶことで、ピアサポートの基本的な意義や効果を理解する。

時間

30分

## 【伝えたいこと】

- (1) ピアサポートとは、仲間としての支えあいです。
- (2) 多様な障害ピアサポート  
精神障害、身体障害、知的障害、難病、高次脳機能障害など、それぞれの障害領域では、これまで多様なピアサポート活動が行われてきました。
- (3) ピアサポート活動では、ストレングス視点（強みを活かす視点）が大切です。
- (4) ピアサポート活動と障害者の権利に関する条約  
障害者の権利条約は人の多様性を認め、尊重することの大切さをうたっています。  
障害があることは個人の責任ではなく、社会がさまざまなバリアをとりぞいていくことによって、障害のある人とない人との平等が実現されるのです。  
ピアサポート活動もまた、障害者の人権尊重ということを大事にしています。

出所：平成30年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（身体・知的分野））  
障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に関する研究 基礎研修テキスト（第3版）2019年 3月

## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

## 1 ピアサポートの理解

| 伝えたいこと                 | 講義の構成   |
|------------------------|---|
| ピアサポートとは<br>仲間としての支えあい | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ピアサポートとは               <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ピア=同じ立場にある仲間</li> <li>➤ ピアサポート=同じ立場にある・同じ課題に直面している仲間としての支えあい</li> <li>➤ 障害領域のピアサポート=自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障害や疾病のある障害者のための支援を行うもの</li> <li>➤ ピアサポートの有効性                   <ul style="list-style-type: none"> <li>【心理的なサポート】共感、安心感</li> <li>【体験的なサポート】体験してきた強み、実践から得た情報</li> </ul> </li> <li>➤ 都の研修で目指すピアサポーター像、専門職像（次頁）</li> <li>➤ ピアサポーターの強み                   <ul style="list-style-type: none"> <li>支援する相手と同じ課題に直面してきたという立場</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> |

## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

## 1 ピアサポートの理解

## 伝えたいこと

## 講義の構成

ピアサポートとは  
仲間としての支えあい

## 本研修で養成するピアサポーター像

- 障害や福祉制度に関する適切な知識を持っている。
- ピアサポートの意義や効果を十分に理解している。  
(ピアサポート=自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験を生かしながら、他の障害や疾病のある障害者のための支援を行うもの)
- 同じような立場にある・同じような課題に直面している仲間として認め合い、共感し、本人に安心感をもたらす。
- 本人にとっての身近なロールモデルとなり、希望をもたらす。
- 管理者等の他の支援者と協働して本人に適切なサポートを実践する。

## 本研修で養成するピアサポーターと協働する専門職 (管理者等)像

- 障害当事者を取り巻く課題を十分に理解している。
- 障害や福祉制度に関する適切な知識を持っている。
- ピアサポートの意義や効果を十分に理解している。  
(ピアサポート=自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験を生かしながら、他の障害や疾病のある障害者のための支援を行うもの)
- ピアサポーターと協働して、本人に適切なサポートを実践する。
- 状況を見て、ピアサポーターの配置や安心して働ける職場づくり等に適切な判断を下すことができる。



## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

## 1 ピアサポートの理解

| 伝えたいこと       | 講義の構成  |
|--------------|--|
| 多様な障害者ピアサポート | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 障害領域ごとのピアサポート活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 精神、身体、知的、難病、高次脳<br/>それぞれの障害領域において、多様なピアサポート活動が展開されてきた</li> <li>⇒<u>障害領域ごとのピアサポート活動は、具体的には次の項目「ピアサポートの実際・実例」で各障害領域の講師から講義いただきたいと考えていますが、如何でしょうか。</u></li> </ul> </li> <li>□ ピアサポート活動そのものが多様           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>医療機関などで専門家がサポートしながら進めるグループもあれば、当事者だけで語らうセルフヘルプグループの活動もある。</u></li> <li>➢ <u>仕事として雇用契約関係下で就労する者もいれば、雇用契約下ではなく有償ボランティアとして従事する者、無償ボランティアとして活動する者もいる。</u></li> <li>➢ <u>現場により、「ピアスタッフ」、「ピアカウンセラー」等、呼び方は様々</u></li> <li>➢ <u>以上のように、ピアサポート活動そのものが多様であるが、本研修の主たる対象は、雇用契約に基づき雇用されている者。また、今後雇用が見込まれる者。</u></li> </ul> </li> </ul> |

## 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修概要

## 1 ピアサポートの理解

## 伝えたいこと

## 講義の構成

ピアサポート活動では、**（強みを活かす視点）**が大切なストレングス視点

- × 「できないこと」に着目
- ○ その人の持っている強みや、その人自身が「やりたいこと」に焦点をあてる。ストレングス（強み）を伸ばす。
  
- 個人のストレングス…性格や技能・才能など
- 環境のストレングス…その人を取り巻く周囲の環境（人的リソースや連携可能な関係機関等）をピアサポート活動に活かし、その人が「やりたいこと」を支える。また、その人が「やりたいこと」を実現できるように障壁（バリア）を除去していく。  
⇒ストレングス視点（強みを活かす視点）の説明で、補足すべきことはありますか？
  
- スtrenグス視点を持ってピアサポートを行うためにピアサポーターに求められること
  - その人の中にある力を引き出す支援。本人に自信を取り戻してもらい、自分の強みに気付いてもらうことから始める。（エンパワメント）
  - エンパワメントを通じて、自己選択・自己決定ができるように支援
  - ピアサポーターがエンパワメントするためには、ピアサポーター自身が障害をありのままに受け入れていることが大事。なぜなら、自分が障害者であることを嫌だと思っている人ではなく、自分の障害を受け入れ、いいところもダメなところも丸ごと自分を好きになってくれる人に相談したいと思うから。
  
- 特に障害領域ごとに心がけるストレングス視点  
⇒共通の視点以外で、障害領域の違いによって特に心がける視点はありますか？
  
- スtrenグス視点以外での大切な視点（姿勢）  
⇒ストレングス視点以外で心がける大切な視点（姿勢）はありますか？障害領域の違いはありますか？